

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年10月29日  
上場取引所 大

上場会社名 株式会社ピーエスシー  
コード番号 3649 URL <http://hos.ne.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相原 輝夫  
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 藤田 篤  
四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 089 (947) 3388

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年12月期第3四半期の業績（平成24年1月1日～平成24年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	1,140	30.2	300	374.0	301	437.1	174	515.5
23年12月期第3四半期	875	23.0	63	△49.6	56	△53.9	28	△60.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	41.15	39.48
23年12月期第3四半期	7.28	6.90

（注）平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	1,279	1,116	87.3
23年12月期	1,355	952	70.3

（参考）自己資本 24年12月期第3四半期 1,116百万円 23年12月期 952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年12月期	—	0.00	—		
24年12月期（予想）				6.00	6.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、平成24年12月期（予想）の年間配当金は、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

平成24年12月期（予想）1株当たり6.00円は、株式分割前の1株当たり12.00円に相当いたします。

（23年12月期期末配当の内訳） 普通配当 12.00円 上場記念配当 3.00円

3. 平成24年12月期の業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	1,910 23.8	665 65.1	665 68.3	411 85.2	96.32

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、平成24年12月期の業績予想における1株当たり当期純利益は、当該株式分割が期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年12月期 3 Q	4,311,000株	23年12月期	4,143,200株
② 期末自己株式数	24年12月期 3 Q	一株	23年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年12月期 3 Q	4,251,750株	23年12月期 3 Q	3,904,032株

(注) 平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(5) セグメント情報等 .....	6
(6) 重要な後発事象 .....	6
4. 補足情報 .....	7
(1) 経営管理上重要な指標の推移 .....	7
(2) 生産、受注及び販売の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要に支えられ公共投資が増加を続けるとともに、民間投資も緩やかな増加基調でありましたが、欧州債務問題など世界経済を巡る不確実性は引続き大きく、雇用情勢にも厳しさが残るなど依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社が市場とする医療業界におきましては、政府の医療構造改革の推進等により、医療機関にさらなる医療行為の高水準化と経営の効率化が要求されるとともに、「個人と医療機関」「地域の各医療機関」「各地域連携医療圏」を繋ぐ地域連携医療に対する医療機関の機能強化及び在宅医療の充実に向け、IT化の動きは恒常的な拡大傾向を一層顕著に示しました。

このような環境の中、当社では、大学病院をはじめとする大規模病院への医療用データマネジメントシステムClaioやClaioシリーズ製品（※）、院内ドキュメント／データ管理システムDocuMaker及び紹介状添付CD／DVD取込システムPDI+ MoveByの販売・導入に注力するとともに、代理店による診療所への電子カルテREMORA、Claioの導入にも積極的に取り組み、大規模案件28件及びクリニック・小規模病院案件70件の新規・追加導入を行いました。

また、第2四半期より販売を開始したWeb／ローカル連携ツールRemoteCAPは、地域連携を含む11件の導入が行われたことに加え、RemoteCAPがもたらす「Webシステムとローカルシステムとの連携」のシナジー効果により、C-ScanとDocuMakerを併せて導入するケースが増加したことから、1案件当たりの導入規模が拡大した結果、ソフトウェアの販売増加に繋がりました。

この結果、売上高は1,140,539千円（前年同四半期比130.2%）、営業利益は300,914千円（同474.0%）、経常利益は301,099千円（同537.1%）、四半期純利益は174,950千円（同615.5%）となりました。

当第3四半期累計期間においては、代理店販売が好調であったことに加え、直販においても偏に売上高を増加させるのではなく、ソフトウェアメーカーとして高利益率の確保に向けた販売方針を推進し、ハードウェアの取扱いを最小限に留めることでソフトウェアの販売にヒューマンリソースを傾注しました。これにより、仕入や導入作業に係る社内工数の削減が可能となったことから、利益率についても前年同四半期に比べ大幅に向上し、売上高営業利益率は26.4%（前年同四半期より19.1%増加）、売上高経常利益率は26.4%（同20.0%増加）、売上高四半期純利益率は15.3%（同12.1%増加）となりました。

研究開発活動については、当第3四半期に販売開始した情報自動取得／仲介連携システムP-Launcherの連携機能を強化し、当社製品群以外のシステム間データ連携・起動も可能とすることで、当社製品市場の拡大に繋がりました。今後も中小規模病院市場に対するソリューション強化とさらなる受注の拡大を図ってまいります。

※紙カルテ・文書アーカイブシステムC-Scan、カルテ記事記載システムC-Noteなど、Claioと連携することで院内データの一元管理を実現する「画像と文書の統合ソリューション」群であります。

### （2）財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、1,279,901千円となり、前事業年度末と比較して75,746千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金の増加144,875千円及び商品の増加37,848千円に対し、受取手形及び売掛金の減少349,985千円による流動資産の減少173,734千円と、無形固定資産（主に市場販売目的のソフトウェア）の増加82,307千円及び東京支店の増床に伴う敷金の増加9,404千円による固定資産の増加97,988千円によるものであります。

負債は、162,983千円となり、前事業年度末と比較して239,950千円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少57,895千円、1年内償還予定の社債の減少100,000千円、未払金の減少20,985千円及び未払法人税等の減少60,441千円によるものであります。

純資産は、1,116,918千円となり、前事業年度末と比較して164,204千円の増加となりました。これは、新株予約権（ストック・オプション）の行使に伴う資本金及び資本剰余金の増加10,487千円並びに利益剰余金の増加143,876千円によるものであります。

### （3）業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の業績予想は、現時点では、平成24年10月24日の公表数値に変更はありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

当社は、第3四半期貸借対照表日後平成24年10月1日付で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

### （3）追加情報

#### 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	427,089	571,964
受取手形及び売掛金	570,499	220,514
商品	20,725	58,573
仕掛品	2,185	1,192
貯蔵品	750	750
その他	24,521	19,041
流動資産合計	1,045,771	872,036
固定資産		
有形固定資産	52,650	56,302
無形固定資産		
ソフトウェア	195,676	277,984
その他	344	344
無形固定資産合計	196,020	278,328
投資その他の資産	61,204	73,233
固定資産合計	309,876	407,864
資産合計	1,355,647	1,279,901
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,013	16,118
1年内償還予定の社債	100,000	—
未払法人税等	101,823	41,382
その他	110,350	92,460
流動負債合計	386,187	149,961
固定負債		
その他	16,746	13,022
固定負債合計	16,746	13,022
負債合計	402,934	162,983
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	235,982	246,469
資本剰余金	205,982	216,469
利益剰余金	510,542	654,418
株主資本合計	952,506	1,117,357
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	207	△439
評価・換算差額等合計	207	△439
純資産合計	952,713	1,116,918
負債純資産合計	1,355,647	1,279,901

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	875,966	1,140,539
売上原価	477,981	486,284
売上総利益	397,985	654,255
販売費及び一般管理費	334,504	353,340
営業利益	63,481	300,914
営業外収益		
受取利息	82	397
受取配当金	—	150
助成金収入	600	1,420
技術指導料	300	—
業務受託料	238	—
その他	18	383
営業外収益合計	1,238	2,351
営業外費用		
支払利息	1,168	744
支払保証料	1,349	1,015
株式交付費	6,141	407
その他	0	0
営業外費用合計	8,658	2,167
経常利益	56,060	301,099
特別損失		
固定資産除却損	611	1,273
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,543	—
特別損失合計	2,155	1,273
税引前四半期純利益	53,905	299,825
法人税、住民税及び事業税	16,180	124,444
法人税等調整額	9,299	430
法人税等合計	25,480	124,874
四半期純利益	28,425	174,950

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社の事業は、医療システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期会計期間（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）

当社は、平成24年8月31日開催の取締役会決議に基づき、平成24年10月1日を効力発生日とする株式分割を行っております。

① 株式分割の概要

(株式分割の目的)

当社株式の投資単位当たりの金額を引下げ、株式の流動性を高めることで、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的とし株式分割を行っております。

(株式分割の方法)

平成24年9月30日（日曜日）〔当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には平成24年9月28日（金曜日）〕最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有普通株式数を1株につき2株の割合を持って分割しております。

(分割による増加株式数)

株式分割前の当社発行済株式総数

普通株式 2,155,500株

今回の分割により増加した株式数

普通株式 2,155,500株

株式分割後の当社発行済株式総数

普通株式 4,311,000株

② 株式分割の効力発生日

平成24年10月1日

③ 新株予約権の調整

今回の株式分割に伴い、効力発生日と同時に新株予約権の目的となる株式数と1株当たりの行使価額を以下の通り調整しております。

	調整前		調整後	
	株式数	行使価額	株式数	行使価額
第3回新株予約権	44,500株	250円	89,000株	125円
第4回新株予約権	19,200株	250円	38,400株	125円

④ 発行可能株式総数の増加

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、平成24年10月1日をもって当社の定款第5条を変更し、発行可能株式総数を6,528,000株増加して13,056,000株としております。

4. 補足情報

当社の事業は、医療システム事業の単一セグメントであります。

(1) 経営管理上重要な指標の推移

	第27期 第3四半期累計期間	第28期 第3四半期累計期間	第27期
売上高 (千円)	875,966	1,140,539	1,543,160
営業利益 (千円)	63,481	300,914	402,742
経常利益 (千円)	56,060	301,099	395,061
四半期（当期）純利益 (千円)	28,425	174,950	221,961
純資産 (千円)	759,464	1,116,918	952,713
総資産 (千円)	1,034,967	1,279,901	1,355,647
1株当たり純資産 (円)	366.63	259.09	459.89
1株当たり四半期（当期）純利益 (円)	14.56	41.15	111.98

(注) 平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は以下のとおりであります。

	第27期 第3四半期累計期間	第28期 第3四半期累計期間	第27期
1株当たり純資産 (円)	183.31	259.09	229.95
1株当たり四半期（当期）純利益 (円)	7.28	41.15	55.99

(2) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績は、次のとおりであります。

事業部門	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
医療システム事業	417,056	117.9

(注) 1. 金額は当期総製造費用によっております。  
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第3四半期累計期間の受注状況は、次のとおりであります。

事業部門	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
医療システム事業	1,232,375	144.8	392,890	166.3

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。  
2. 受注残高は、第2四半期より、定期的なメンテナンス及びライセンス収入の受注残高を含めず記載しております。

③ 販売状況

当第3四半期累計期間の販売実績を販売・サービス種類別に示すと、次のとおりであります。

販売・サービス種類別	販売高（千円）	前年同四半期比（％）
ソフトウェア	905,525	156.0
ハードウェア	57,372	35.6
メンテナンス等	177,642	132.1
合計	1,140,539	130.2

(注) 1. 当第3四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	
	金額（千円）	割合（％）	金額（千円）	割合（％）
日本電気株式会社	104,226	11.9	309,742	27.2
日本電子計算機株式会社	194,865 (注) 2	22.2	4,314	0.4

2. 主に、国立大学病院へのシステム新規導入に係るものであります。同社は、当社よりシステム一式を購入し、当該大学病院に対してリース取引を行っております。
3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。